

みんなで創る“あらお旅”推進プロジェクト

— 第3期荒尾市観光振興計画 —

令和3年度 実施計画

令和3年10月

荒尾市

基本方針1 魅力あるコンテンツづくりと売れる商品造成

KPI指標	基準値(R1)	現状値(R2)	R3	R4	R5	R6	目標値(R7)
万田坑入坑者数	39,780人	15,132人					5万人
宮崎兄弟生家・資料館入場者数	2,031人	1,557人					7千人
荒尾干潟水鳥・湿地センター入館者数	12,802人	12,978人					3万人
子ども科学館入館者数	3,153人	1,988人					1.5万人
まるごとあらお物産館販売額	841万円	654万円					1,020万円
修学旅行宿泊校数（小・中・高）	72校	39校					90校
訪日宿泊客数	10,044人	990人					3万人

基本施策	事業名	実施主体	概要
多 種 多 様 な コ ン テ ン ト	新たな体験プログラムの造成		
	「文化資源×アウトドア体験」プログラム造成事業	荒尾市	観光庁「地域の観光の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」を活用し、万田坑及び宮崎兄弟の生家における新たな体験プログラムを造成する。万田坑においては、鉄道敷ウォークやライトアップを行うとともに、キャンプ体験を実施する。一方、宮崎兄弟の生家においては、資料館見学後に庭園で宮崎兄弟にゆかりのある料理の提供を行う。
	炭鉱電車整備事業	荒尾市	三井化学から寄贈を受ける炭鉱電車について、万田坑周辺に設置するための設計を行う（R4年度中の設置を予定）。炭鉱電車を設置することで、見学者は往時の専用鉄道敷の様子を目視で体感することができるようになる。電車の運転室には一般客も乗り込めるようにする。
	万田坑ステーションデジタルコンテンツ整備事業	荒尾市	万田坑ステーション来館者へ万田坑の理解度向上を図るため、万田坑の写真データや元労働者のインタビュー映像など公開できるデジタルアーカイブの整備や、現在では実際に見ることができない地下坑道の世界をVR（仮想現実）で疑似体験できるようVR機器を整備する。
	イベントを活用した魅力づくり		
	あらお梨の花元気ウォーク	あらお梨の花元気ウォーク実行委員会	特産品である「荒尾梨」の花を觀賞しながらウォーキングするというイベントを開催する。今回は、参加者によるSNS等での情報発信を促すため、写真撮影用のフォトフレームを設置するとともに、梨の加工品等をPRするため、参加者に梨のお菓子やまるごとあらお物産館の割引券などを配付する。
万田坑フェスタ	荒尾市	コロナ禍における開催のあり方を模索しながら、イベントの開催を検討する。	

ノ ツ ヅ く り	オンライングルメツアー	荒尾市	吉本芸人をゲストに招き、荒尾市の観光スポットやグルメを紹介するオンラインツアーを開催する。イベントはオンラインとリアルを融合した内容とし、荒尾市の特産品等を参加者に送付し、実際に体感してもらうような仕掛けを行う。
	オンライン探鳥会	日本野鳥の会	コロナ禍において、荒尾干潟の魅力を発信することを目的に、日本野鳥の会と連携としたオンライン探鳥会を実施する。全国の野鳥ファンから参加を募り、荒尾干潟に飛来する野鳥や生息する生き物を紹介することで、コロナ収束後の荒尾干潟への来訪につなげる。
	宮崎兄弟の生家施設牡丹茶会	荒尾市	海陽中学校茶道部の協力のもと、宮崎兄弟の生家で牡丹茶会を開催する。
	ご当地グルメ・お土産品開発		
	特産品開発及び販路開拓等支援事業	荒尾市	「道の駅あらお(仮称)」の開業も見据え、物販機能の充実や持続可能な運営体制の構築を図るため、市内で生産された一次産品等を活用した加工品をはじめとする新商品の開発や、販路拡大に向けた取組、事業推進体制の構築などに係る支援を行う。
	荒尾産農水産物販路拡大推進事業	玉名農業協同組合 荒尾漁業協同組合 熊本北部漁業協同組合	本市の農水産業の成長化や持続的な生産者の経営安定化を図っていくため、本市農水産物のブランド化や販路拡大を図っていく。 農業においては、JAたまなの共販体制による「あまづき」を主体とした販売戦略の構築を目指しており、水産業については、荒尾漁協とも連携した養殖牡蠣の実証生産に着手している。
付 加 価 値 の 高 い コ ン テ ン ツ ヅ く り	既存体験プログラムのブラッシュアップ・ガイドの確保・育成		
	万田坑子どもガイド	荒尾市	万田小学校の6年生の児童による子どもガイドを実施する。イベントの開催時や団体予約が入っている日程などを中心に、年に数回行う。今年度は、withコロナにおける対応として、万田小学校の5年生の児童に対するガイドや、近隣の学校関係者の視察に対するガイドを行う予定。
	マジック釣り体験ブラッシュアップ事業	荒尾市	マジック釣り体験について、プログラムとして継続的に販売できるよう、内容の高付加価値化を図るとともに、料金体系や運営体制を見直し、安定的に収益が確保できる持続可能な仕組みづくりを行う。
	あらたま地域観光体験コースの磨き上げ事業	荒尾・玉名地域観光推進協議会	荒尾・玉名地域観光推進協議会の作業部会メンバーでワークショップ等を行い、観光体験コースの磨き上げを行う。日帰りや1泊2日など、滞在時間が長くなるようなコースを造成し、パンフレット制作する。
	教育旅行に向けたプログラムのブラッシュアップ・ガイドの育成		
	「エコアくまもと」におけるインストラクター育成事業	荒尾玉名教育旅行推進協議会	南関町にある「エコアくまもと」において、「SDGs」や「環境保全」をテーマとするプログラムの造成として、インストラクターの人材育成を行う。
品 旅 成 の 行 造 商	旅行業者等と連携した旅行商品造成（国内・海外）		
	荒尾市バスツアー誘致推進事業	荒尾市	市内の宿泊施設への宿泊や、有料観光施設等への訪問などを含む団体バス旅行を実施する旅行会社等に対し、補助金を交付する。

基本方針2 情報収集の段階を踏まえた効果的なプロモーション

KPI指標	基準値(R1)	現状値(R2)	R3	R4	R5	R6	目標値(R7)
荒尾市観光協会HP閲覧数	－	90,450件					99,500件
荒尾市観光協会Instagramのフォロワー数	－	890人					2,090人
観光アプリダウンロード数	－	－					5,000件

基本施策	事業名	実施主体	概要
「旅マイ」に対する情報発信の強化	SNS等による情報発信の強化		
	LINE公式アカウント機能拡張	荒尾市	荒尾市LINE公式アカウントに紐づいた情報配信システムの構築・運用について委託契約を行い、より効果的な情報発信体制を整える。具体的には、利用者からアンケートを取り、ニーズに応じたジャンルの情報発信を実現することで、観光を含む全てのジャンルの情報発信にLINEを活用する。
	有料広告の活用		
	「るるぶ福岡」への広告掲載	荒尾市	認知度が伸び悩んでいる「荒尾干潟水鳥・湿地センター」や「子ども科学館」を中心に、市内の観光スポットを福岡エリアを訪問する観光客に対しPRするとともに、継続的に情報収集する「あらおファン」を増やすため、広告記事を掲載する。
	荒尾駅待合室物産陳列広告事業	荒尾市	JR荒尾駅駅舎待合所に物産陳列棚を設置し、特産品及びお土産品を利用者にPRする。定期的に展示の見直しを行い、飽きがこないようにする。
	パブリシティの獲得に向けたメディア等との関係構築		
	観光PR動画制作事業	荒尾市	テレビ局と連携し、本市の観光PR動画を制作する。「夏編」「秋編」「グルメ編」を制作し、昨年度制作した内容と併せてオールシーズンでの紹介ができるようにする。加えて、テレビ番組と連携した企画を行い、メディアを通じた情報発信を強化する。
	天気ファイラーでの放映事業	荒尾市	テレビ局と連携し、観光スポットを含めた本市ならではの風景を撮影した動画を制作し、天気ファイラーとして放映する。
「旅ナ信カ	官民連携による観光キャンペーンの展開		
	観光キャンペーン	荒尾市観光協会	荒尾市観光協会、グリーンランドリゾート、荒尾市が連携して観光キャラバン隊を結成し、九州内各都市を訪問して、各メディアを通じて各都市の方々に観光PRを行う。
「旅ナ信カ	観光ポスターやアプリ等を活用した情報発信の強化		
	観光ポスター制作事業	荒尾市	本市の観光資源を紹介するため観光ポスターを制作する。今年度は、JR荒尾駅からのアクセス情報などを発信するポスターとし、鉄道の利用促進にもつなげる。

の 強 化 の 情 報 発	観光×交通アプリ・公開事業	荒尾市	観光情報の発信やクーポン発行、デジタルスタンプラリーが実施できる観光アプリを開発・公開する。また、同アプリには交通システム機能を併せ持たせ、おもやいたクシーの予約時の利便性向上も図る。
	観光情報季節情報誌作成事業	荒尾市観光協会	季節ごとの観光情報を掲載した情報誌「こんな」を年3回発行する。また、荒尾おもてなし直売会と共催し「荒尾梨でおもてなしガイドマップ」の作成や販売促進キャンペーンを実施する。
営 業 活 動 等 の 実 施	教育旅行誘致に向けた営業活動の実施		
	教育旅行営業活動	荒尾玉名教育旅行推進協議会	神戸市をはじめとする関西方面や、広島市、岡山市などの中国方面において、令和4年度及び令和5年度の受入れに向けた営業活動を行う。マジック釣り体験やテラー乗車体験などの学習系のプログラムとグリーンランドなどのエンタメ系の情報を併せて発信することで、関心の拡大を目指す。
	修学旅行受入対応	荒尾玉名教育旅行推進協議会	今年度予約が入っている来訪校について、コロナ対策を含めたおもてなしを十分に行うとともに、終了後のお礼状送付などにより継続的な関係性の構築を図る。
	訪日旅行誘致に向けた商談会等の実施		
	中国向けオンライン商談会	荒尾市	中国の旅行会社を募り、本市の観光スポットを直接説明する商談会をオンラインで開催する。アンケート調査等を行い、今後の継続的な展開につなげる。
	豪州向けオンライン商談会	荒尾市	豪州の旅行会社を募り、本市の観光スポットを直接説明する商談会をオンラインで開催する。アンケート調査等を行い、今後の継続的な展開につなげる。
九州インバウンド観光商談会	荒尾市	九州観光推進機構が主催する国内ランドオペレーターとのオンライン商談会に参加し、本市の観光スポットの紹介と旅行商品の造成につなげる。	

基本方針3 周遊しやすい環境の整備と宿泊の促進

KPI指標	基準値(R1)	現状値(R2)	R3	R4	R5	R6	目標値(R7)
JR荒尾駅乗車人員	1,023人/日	776人/日					1,500人/日
おもやいたクシー年間利用者数	－	4,056人					1.4万人
Arao Pay導入事業者割合（飲食・サービス・小売り）	－	60%					90%
宿泊客数	164,919人	121,970人					20万人

基本施策	事業名	実施主体	概要
ストレスなく楽しめる環境整備	二次交通の利便性向上		
	観光×交通アプリ・公開事業【再掲】	荒尾市	おもやいたクシー予約時の操作利便性の向上をはじめ、観光や商業等と連携した観光MaaSを実現するためアプリを導入する。さらに、観光周遊やおもやいたクシーの利用促進を図るため、主に観光来訪者向けのサブスク運賃を検討する。
	観光案内機能や誘導サインの整備		
	観光施設改修・修繕事業	荒尾市	観光標識、観光トイレなど維持管理を定期的実施するとともに、老朽化等による修繕等を行う。
	ウォーキング案内板設置事業	荒尾長洲地域資源活用推進協議会	荒尾干潟水鳥・湿地センターと金魚と鯉の郷を結ぶウォーキングコースを周知する案内板を設置する。周辺情報も含め案内し、沿岸地域周遊の利便性向上を図る。
	キャッシュレスの推進		
	「AraoPAY」の加盟促進	荒尾商工会議所	熊本県内初の事業として、プレミアム付商品券事業の電子化（AraoPAY）を行う。現在は、地元店舗のみが加盟店舗となっているため、大型店舗等の加盟店登録を目指し、市内全域のキャッシュレス化を図っていく。 なお、今年度は「AraoPAY」の加盟店を増やすために紙媒体商品券（プレミアム分20%）よりも多い、40%のプレミアム分を付与した。
携と点誘強の施客化連設拠	グリーンランドへの誘客促進		
	「近場で満喫！あらか周遊キャンペーン」事業	荒尾市	万田坑や宮崎兄弟の生家、まるごとあらか物産館などを利用した方に対し、グリーンランド及び子ども科学館で利用できる割引券を配付する。
宿泊	宿泊プランの充実と「新たな旅のスタイル」の推進		
	「新たな旅のスタイル」促進事業	荒尾市	観光庁「新たな旅のスタイル」促進事業を活用し、万田坑や荒尾干潟、グリーンランドなどと絡めたワーケーションプログラムを造成し、企業等に提案するとともに、企業とのマッチングを経て事業性等について実証を行う。

旅 行 の 推 進	ナイトタイムを活用したプログラムの造成		
	ドライブインシアター事業	荒尾市観光協会	万田坑においてドライブインシアターを開催する。参加料がセットになった宿泊プランを造成し、宿泊の促進を図る。
広 域 連 携 の 推 進	宿泊施設の魅力向上		
	のあそびlodge魅力向上支援事業	荒尾市	荒尾駅前にあったビジネスホテルをDIYで「山小屋風」にリノベーションした宿泊施設「のあそびlodge」の開業に当たり、熊本県の補助金を活用し、利用促進に向けたイベント等の支援や情報発信等を行う。
	広域的な情報発信の強化		
	広域観光パンフレット制作事業	有明広域定住自立圏推進協議会広域観光振興部会	圏域内への誘客を促すようなパンフレットを制作する。マイクロツーリズムの視点を取り入れた内容とし、圏域へのアクセス情報等を盛り込む。
	WEBサイトを活用した共同PR事業	有明広域定住自立圏推進協議会広域観光振興部会	圏域内の自治体のWEBサイトを軸に、イベント情報等を共有し、発信する。
	サイクルツーリズムの推進		
	荒尾・玉名地域自転車ネットワーク計画策定	荒尾玉名地域自転車ネットワーク推進協議会	荒尾・玉名地域の自転車の安全な通行空間を確保するための整備を着実に推進するため、荒尾玉名地域自転車ネットワーク計画を策定する。
サイクリング事業	荒尾長洲地域資源活用推進協議会	荒尾干潟水鳥・湿地センターと金魚と鯉の郷を結ぶ有明海沿岸地域の周遊性向上や誘客促進に向け、両施設を拠点としたサイクリング事業を実施する。自転車6台を購入する予定。	
特産品の販路拡大			
観光列車36+3でのおもてなし事業	荒尾・玉名地域観光推進協議会	JR九州が運行する観光列車36+3が玉名駅に約20分間停車する際に、物産品の販売、PRを行うとともに、オンラインショップの周知を図る。	

基本方針4 人材育成・観光地域づくりの推進

基本施策	事業名	実施主体	概要
く 観 り 光 構 組 地 築 織 域 の づ	<p>観光地域づくり人材の確保・育成</p> <p>観光推進組織機能強化事業</p>	<p>荒尾市観光協会</p>	<p>観光協会に組織経営及び観光ニーズや旅行業を熟知した人材を配置し、経営体質や事業推進体制など組織運営の見直しに取り組み、経営の黒字化を図る。</p>